



Global Asset Management
BlueBay Asset Management

エマージング債券：5つの投資ソリューション



ポリナ・クルドヤフォ
エマージング市場チーム・ヘッド



ソム・バッタチャリヤ
ポートフォリオ・マネジャー

2022年2月

エマージング資産は常に課題と多様な投資機会を提供してくれます。アルファ獲得の投資機会は常にありますが、全ての投資戦略が今の投資環境に合致したものであるとは限りません。2022年に有効なパフォーマンスを獲得出来ると思うソリューションをご紹介します。と思っています。

パンデミックによる制約やインフレ圧力の再燃といった良く耳にするテーマ要因と共に、多くの国で国内での大きな進展が見られると予想しています。筆頭として浮かぶのはアルゼンチンやチュニジアでの政策転換ですが、その他にもコロンビアやブラジルで選挙が予定されています。トルコでも早期選挙が実施される可能性があり、ウクライナとロシアの緊張状態にはとりわけ注意を払う必要があるでしょう。エマージング社債市場にとっては中国での不動産セクターを巡る政策の枠組みがパフォーマンスを左右する一つの主因になると見えています。

エマージング外貨建て債のベータ・リターンは抑制されたものとなり、キャリーによる収益が主になると考えています。しかし、ボトムアップ分析によって流動性の高い銘柄への見方を区別することで、アルファ創出機会は潤沢にあると見えています。

エマージング現地通貨建て債にも注目しており、正しいタイミングであればアウトパフォームする可能性のある資産クラスです。

エマージング社債は、引き続き魅力的な分散を提供すると考えています。ESGトレンドという点で、興味深い進展が見られる可能性があり、安定したキャリーを低デフォルト・シナリオのなかで得られる資産クラスであると捉えています。しかし、そのなかでワイルドカードとなり得るのが、中国の不動産セクターの状況でしょう。

2022年は投資家の敏捷性が試されることになりそうです。アクティブかつ慎重なポートフォリオ構築が不可欠になるでしょう。現在の投資環境を活用出来、エマージング資産のリターンの潜在性を引き出せると考える5つの投資ソリューションをご紹介します。と思っています。

投資目標

流動性の高いビークルを使いながら、デレションを抑え、高いキャリアを得る

ソリューション1；エマージング総合短期デレション戦略

米金利の上昇が予想される環境下においては短期デレション戦略は特に魅力的と思え、短期債の中でも、高いキャリアを提供する資産を捉えることが出来る戦略であれば、尚更良いとみています。エマージング総合短期デレションは、2021年にプラス・リターンとなった数少ない資産クラスの一つであり、2022年も同様の結果となる可能性があります。

投資目標

低流動性のビークルを使いながら、デレションを抑え、高いキャリアを得る

ソリューション2；エマージング低流動性クレジット戦略

低流動性のポジションを取ることが出来る投資家においては、エマージング市場のローンに投資をすることで、低流動性プレミアムを得ることが出来ます。金利の影響に過度に晒されることなく、安定したリターンが見込めるでしょう。

投資目標

ボラティリティの高い環境下でプラスのリターンを獲得する

ソリューション3；エマージング債アンコンストレインド戦略

堅調な上昇局面で良好なリターンを獲得する柔軟性を持ちながらも、下落局面でもプロテクションを発揮出来る柔軟性を持つアンコンストレインド型の戦略です。中国の不動産セクターや石油・ガスセクターにおける足元の調整は、将来上昇が見込めるポジションを取ることが可能になると考えています。

投資目標

負債のマッチング

ソリューション4；バイ・アンド・メンテナンス型

低い回転率で、外貨建て債への投資を通じて年金負債のマッチングや魅力的な利回りを得たいと考える投資家に適していると考えています。規制環境が変化中、それぞれの財務目標を達成するために、カスタマイズした形で戦略を提供することが可能な戦略です。

投資目標

責任ある投資

ソリューション5；ESGに着目した戦略

エマージング市場の投資においてもESG戦略はより強いテーマ性を持つことになると考えています。投資家のカーボン・フットプリントを軽減するための炭素に焦点を当てた戦略や、インパクト型の戦略によって、投資家はエマージング・クレジット債への投資による恩恵を受けることが出来るかもしれません。

ディスクレーム

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1029号

一般社団法人 日本投資顧問業協会会員、一般社団法人 投資信託協会会員、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員

■手数料等

当社の提供する投資一任業に関してご負担いただく主な手数料や費用等は以下ようになります。手数料・費用等はお客様の特性、委託された運用金額や運用戦略、運用状況、あるいは当社に係る業務負担等により、下記料率を上回る、又は下回る場合があります。最終的な料率・計算方法等は、お客様との個別協議により別途定めることとなります。

ロング・オンリー戦略					オルタナティブ戦略		
(年率、税抜き)					(年率、税抜き)		
投資対象	投資適格債	エマージング債	レバレッジド・ファイナンス	転換社債	運用戦略	トータルリターン	絶対リターン
運用管理報酬 (上限)	0.40%	0.70%	0.70%	0.65%	運用管理報酬 (料率範囲)	0.50% - 1.10%	0.90% - 1.35%
					成功報酬 (料率範囲)	0.00% - 20.0%	0.00% - 20.0%

なお、当社との投資一任契約は、原則、運用戦略に応じた外国籍投資信託を投資対象とします。上記手数料には、お客様から直接当社にお支払いいただく投資顧問報酬、外国籍投資信託に対して投資した資産から控除される運用報酬が含まれます。

この他、管理報酬その他信託事務に関する費用等が投資先外国籍投資信託において発生しますが、お客様に委託された運用金額や運用戦略ごとに、あるいは運用状況等により変動いたしますので、その料率ならびに上限を表示することができません。手数料や費用等について詳しくは、弊社担当者にお問い合わせをいただくか、契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

■投資一任契約に関するリスク

投資一任契約に基づく契約資産の運用は、原則、戦略に応じた外国籍投資信託を通じて、実質的に海外の公社債、株式等の有価証券や通貨などの価格変動性のある資産に投資を行います。これら有価証券等には主に以下のリスクがあり、株式相場、金利、為替等の変動による価格変動、及び有価証券の発行会社の財務状況の悪化等による価格の下落により、外国籍投資信託等の基準価額が下落し、損失を被ることがあります。従って契約資産は保証されるものではなく、お客様の投資された元本を割り込むことがあります。また、デリバティブ取引等が用いられる場合においては、上記の価格変動等により、元本超過損が生じる可能性があります。運用による損益は全てお客様に帰属いたします。

価格変動リスク：有価証券の価格変動に伴って損失が発生するリスク

為替変動リスク：外国為替相場の変動に伴って損失が発生するリスク

信用リスク：発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により損失が発生するリスク

流動性リスク：市場の混乱等により取引ができず、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失が発生するリスク

カントリーリスク：投資対象国／地域の政治・経済、投資規制、通貨規制等の変化により損失が発生するリスク

なお、契約資産が持つリスクは上記に限定されるものではありませんのでご注意ください。リスクに関する詳細につきましては契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、別途記載のない限り資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社の書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途契約締結前交付書面等をお渡ししますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上



Global Asset Management
BlueBay Asset Management